

■大崎町幼保小連携の会 小・中連携研究会を開催

5月26日(水)、大崎町中央公民館にて第1回幼保小連携の会が、6月11日(金)、大崎中学校にて第1回小・中連携研究会が開催されました。

幼保小連携の会では、園児のスムーズな小学校入学を目的としています。

町内の小学校長・担当教諭、幼稚園・保育園の園長先生と先生方、町の保健師が参加し、情報の交換や共有、意見交換などが行われました。



幼保小連携推進委員会での意見・情報交換の様子

小・中連携研究会では、

- ①学力の向上と基本的生活習慣の定着 ②教員相互の指導力向上 ③教員間の交流と相互理解を目的としています。

研究会では、中学校の授業参観・研究授業、ICT活用に関する研修などを行いました。



僕の夢 私の夢 『命の誕生に立ち会うために』

No.46 持留小学校 6年 永田 楓佳 ふうか

私の将来の夢は、助産師になることだ。きっかけは、テレビだった。ある日、テレビで赤ちゃんが生まれるところを見た。顔をゆがめて苦しそうな妊婦さん。その横で、妊婦さんをはげまし、妊婦さんの背中をさすっている助産師さん。妊婦さんの息は苦しそうだ。「はあ、はあ」と言っている。しばらくして、妊婦さんの呼吸がゆっくりになった。そして、妊婦さんが力を入れた瞬間、「おぎゃあ」という赤ちゃんの元気な声が聞こえた。お母さんは泣いている。助産師さんは、赤ちゃんを取り上げ、お母さんにやさしく赤ちゃんを渡していた。私は、この場面を見たとき、助産師はなんて素晴らしい仕事なんだろうと思った。

それから、私は助産師になるためには、どうすればいいのか、調べてみた。すると、大学に行き、国家試験に合格しなければならないことが分かった。しかも、看護師と助産師の二つだ。私は、助産師になるには、大変なんだなと思った。しかし、命の誕生に立ち会うためには、専門職のいくつもの免許や資格を取得しなければならないんだなと納得した。

助産師になるために、私は日々の勉強をしっかりとがんばりたい。そして、いつの日か、助産師としてたくさんの妊婦さんのお手伝いができたらと思う。

